

導入促進基本計画

1 先端設備等の導入の促進の目標

(1) 地域の人口構造、産業構造及び中小業者の実態等

かつらぎ町は和歌山県の北東部に位置し、北部に和泉山脈、南部に紀伊山地を仰ぎ、町の中心部を東西に紀の川が流れ、町南部の花園地区を有田川が流れています。

道路網の整備により、国道480号線に府県間鍋谷トンネルが開通し大阪府和泉市まで30分、京奈和自動車道が和歌山市から奈良県橿原市まで延伸されたことで、県都和歌山市まで40分の地点に位置しています。

町の人口は平成27年度国勢調査によると16,992人です。

主な産業は農業ですが、年々従事者が減少し、総人口も減少が見込まれます。町内には食品加工、印刷関連及び繊維工業を中心とした製造業の事業所・工場があり、雇用を創出しています。

平成26年度の経済センサスでの事業所総数は892箇所、すべて中小事業所であり、社会経済情勢の悪化に対して直接的に影響を受けやすい状況となっており、企業の経営基盤の強化が求められます。

(2) 目標

今後、少子高齢化や人手不足、働き方改革への対応等の厳しい事業環境を乗り越えるため、老朽化が進む設備を生産性の高い設備へと一新させ、事業者自身の労働生産性の飛躍的な向上を図る。

先端設備等導入計画を認定した事業者の認定件数を年10件とする。

(3) 労働生産性に関する目標

先端設備等導入計画を認定した事業者の労働生産性（導入促進指針に定めるものをいう）が年率3パーセント以上向上することを目標とする。

2 先端設備等の種類

かつらぎ町の産業は、農林業、製造業、サービス業と多岐に渡り、多様な業種がかつらぎ町内の経済、雇用を支えているため、これらの産業で広く事業者の生産性向上を実現する必要がある。したがって、多様な産業の多様な設備投資を支援する観点から、本計画において対象とする設備は、経済産業省関係生産性向上特別措置法施行規則第1条第1項に定める先端設備等全てとする。

3 先端設備等の導入の促進の内容に関する事項

(1) 対象地域

少子高齢化が進むなか、全町域において、効率的・効果的に生産性を向上させるため、かつらぎ町全域を対象地域とする。

(2) 対象業種・事業

本町内には、第一次産業のほか製造業、工業、小売業等の事業所があり、インターネットを活用した情報サービス業等の発展のためにも対象業種・事業は、全業種・事業とします。

4 計画期間

(1) 導入促進基本計画の計画期間

国が同意した日から3年間とする。

(2) 先端設備等導入計画の計画期間

本計画の計画期間は3年間、4年間、5年間とします。

5 先端設備等の導入の促進に際し配慮すべき事項

- ① 人員削減を目的とした取組を先端設備等導入計画の認定としない等、雇用の安定に配慮する。
- ② 公序良俗に反する取組や、反社会的勢力との関係が認められるものについては先端設備等導入計画の認定の対象としない等、健全な地域経済の発展に配慮する。

(備考)

用紙の大きさは日本工業規格A4とする。